

関西宮沢賢治忌 第55回法要

藤原照雄元副会長を追善供養 ～宮沢賢治87回忌～

令和元年9月21日(土) 比叡山延暦寺
関西宮沢賢治の会 会長 深田 稔

賢治忌の9月21日はいつも台風におびえ、9月に入ってから天候に気を揉む毎日を過ごします。今年も台風17号が南海海上を北北東に進行中で、近畿にかかった秋雨前線を刺激し当日は雨になり、昨年同様に比叡山は霧にけむりました。国宝・根本中堂の大屋根改修中のため軒先での法要ができず、3年連続で「法華十講」が行われる由緒ある大講堂(僧侶の学問研鑽の場)での厳かな法要となりました。参加者は64名で、そのうち会員は44名、特別参加者は20名でした。

法要は例年と同様に大講堂内陣の仏様の前に賢治さんの写真を飾り、導師の横山照泰師、出仕4名および世話役の1名と6名の高僧が読経を続ける中、参加者全員で焼香いたしました。なお、今年は岩手県より取り寄せの「りんどう」が遅延して、残念ながら献花に間に合いませんでした。

今年は賢治さんと清六様の宮沢ご兄弟の他、昨年他界された本会元副会長の藤原照雄様、賢治さん後輩の越水幸男様、さらに9回忌となる東日本大震災犠牲者の供養をしていただきました。

副会長八重樫善幸氏の司会の下、いつものように近畿支部会員の自啓寮々歌、「雨ニモ負ケズ」の詩の朗読、「精神歌(CD先導)」の全員合唱で賢治さんを偲びました。

詩の朗読は過去10年にわたる担当の、星野祐美子さんとチェロの三宅香織さんに代わり、一昨年から比叡山高校に移管されました。昨年は国語科の先生でしたが、今年は演劇部一年の生徒さん3名が、それぞれ特徴のある声と朗読で新鮮な印象を与え大変好評でした。

最後に導師の講話があり、「現代は通信手段が発達した半面、人間関係が希薄となった。賢治は擬態語を



霧に煙る比叡山延暦寺 大講堂



内陣中央に賢治さんの写真を飾り法要(導師横山照泰師)

よく使ったが温かみを感じられる。一人ひとり感性を磨いて欲しい」と述べられた。午後からの記念講演会は、幹事の鈴木 力氏の司会で、昨年、宮沢賢治賞を受賞した佐藤泰平先生(立教女学院短期大学名誉教授)が「春と修羅」第一集にある「噴火湾(ノクターン)」の詩と音楽が織りなす<空間>についてのタイトルで、時折音楽を聞かせながらご講演されました。

大槌町・ 風の電話

映画化決定 来年1月全国公開予定

岡 豊(釜石市出身)

私が大槌町吉里吉里浪板の小高い丘に、「風の電話」があるのを知ったのは数年前のNHKのドキュメンタリーでした。その後、高校時代の友人(大槌町出身)からLINEで連絡があり故郷(釜石)に帰る機会があったら是非訪ねてみたらと薦められました。

皆さんもご存知の通り、この「風の電話」は佐々木格(ささきいたる)氏が、震災前年(2010年)に亡くなった従兄ともう一度話をしたい思いから、海辺の高台にある自宅の庭に白い電話ボックスを設置。大震災から1か月後に、被災者が震災で死別した家族への想

いを風に乗せて伝えられるようにと敷地を整備し、電話ボックスには回線の繋がっていないダイヤル式の黒電話と一冊のノートを置いたものです。

今年の4月上旬に宮城県在住の姉妹を誘い釜石に旅行に行った際に、世界遺産に登録された橋野鉄鉱山の高炉跡、そして完成したばかりの釜石鶴住居復興スタジアムを観て大槌町まで足を延ばしました。ガーデニング内に置かれている「風の電話」のボックスの中を覗いていたら、所有者の佐々木さんが出てこられ、映画化が決まり今年（4月）末にロケが来るとのこと。このほかに子供向けの「森の図書館」も運営しております。

8月の24時間テレビで「風の電話」が紹介されたのを観て、映画化はどうなっているのか気になりインターネットで確認したところ、来年1月24日から全国公開されるそうです。是非映画館に足を運び鑑賞したいと思っています。



2018年・寄付金で老朽化した木製ボックスをアルミ製に更新

今からハンカチ1枚では足りないのかな・・・などと考えながら楽しみにしております。

私の知っている出演俳優は西田敏行、三浦友和、西島秀俊などです。

第10回3県合同 納涼ビアパーティ

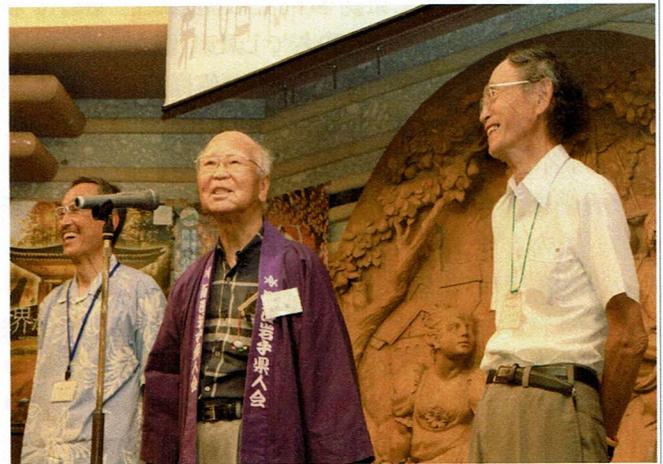
関西岩手県人会が幹事県として開催

令和元年7月21日(日) スーパードライ梅田

鎌田龍児前会長が提唱して始まった納涼祭は早や4巡目となり、北東北3県人会の夏の恒例行事として定着した。担当幹事県も関西岩手県人会が4回目で、鈴木綾子常任幹事の司会の下に開始、参加者116名(岩手42、青森37、秋田37)のコールの後、当番幹事県の金野 衛会長が、青森、秋田両県人会々長とともに登壇。「大いに楽しんでください」と挨拶。次いで北東北3県大阪合同事務所々長 兼 岩手県大阪事務所長の土井尻英明氏が、合同大阪事務所の開設のいきさつを披露した後、元気よく乾杯の音頭をとられた。司会より「飲み放題」の宣言を合図に、暫時会食、懇談の時間を持った。

その後余興タイムに突入、最初は岩手県人会で、堯律子さん(顧問)が主宰する「どんぐりコールミュージカルスクール」の金丸精志(きよし)さんのピアノ伴奏の下、斎藤尚希さんが見事な声量で数曲の歌を披露し、しばし会場を黙らせた。また、過去10年間に一度も登場したことがない境 傳(つとむ)さんが、お仲間近畿青森県人会の誇る津軽三味線の名手、山口光月氏の演奏の下、民謡「南部じょんから節」を見事に歌い上げた。境さんは「全近畿民謡連合会事務局長」も務め、83歳とは思えない声量があり、今回、関西岩手県人会の隠れた民謡の大家であることを印象づけた。次いで、長山幸悦さん、赤崎康男さんがいつもの美声を披露した。

近畿秋田県人会からは、全国的な「日本民謡・梅若会」の若きリーダー、梅若晶子氏が三味線と歌を披露し、踊りの名手・萩原ムツ子氏が「岸壁の母」を、そして、フラダンスは3県人会長に衣裳を着せてメンバーに入れ、一緒に踊ってもらうなど趣向を凝らした演目であった。近畿青森県人会も負けてはならず、会員の作詩作曲になる「青森県人の歌」を数人で合唱、また、



挨拶する金野 衛会長(中央)と青森、秋田県人会長



乾杯 土井尻大阪事務所長



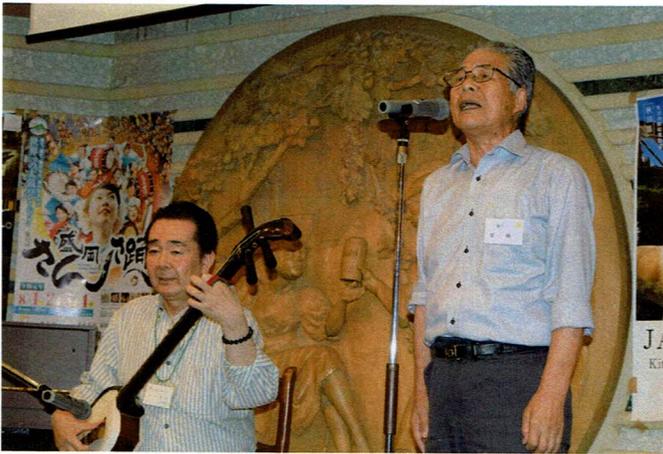
司会 鈴木綾子常任幹事

津軽三味線の伴奏の下に民謡「津軽あいや節」を、また歌謡曲をそれぞれ二人が歌った。

飛び入りで「瓶踊り」や自由参加のカラオケの後、恒例の総踊り「ドンパン節」で最高に盛り上がった。

最後に余韻冷めやらぬ中、次期幹事県である近畿青森県人会の山田武弘会長の挨拶で閉会となった。

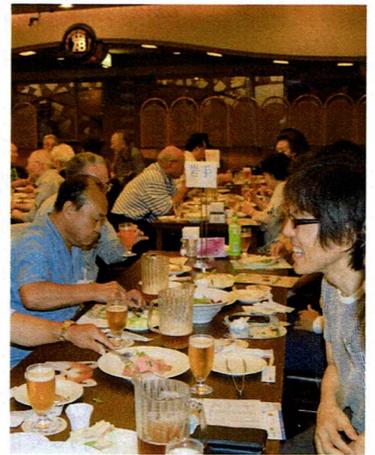
(事務局 F記)



隠れた民謡の大家・境 傳氏（三味線・山口光月氏）



どんぐりコールのお二人



初対面同志が打ち解けて

南部風鈴を 愛でる会

達増知事を迎え 10周年記念法要&式典開催

令和元年7月31日(水)
京都・清水寺

第1回は2010年（平成22年）に風鈴200個、10日間で始まった。当初は世界平和と子供達の健やかな成長祈願を目的にしたが、翌年より東日本大震災犠牲者への鎮魂と復興祈願を加え、8月の1ヶ月間、風鈴の数も年々増えて今回500個に達した。場所も初年度の田村堂から翌年以降は轟門東の回廊にも飾られて現在に至る。風鈴につける短冊には、主に釜石市立唐丹（とうに）小学校、白山小学校および京都市立開晴小中学校の生徒が毎年願いを込めて書き込む。



第10回 京都清水寺で南部風鈴を愛でる会 令和元年7月31日 於 音羽山 清水寺

南部風鈴を愛でる会（会長及川静衛氏、事務局長佐々木享氏）は、10周年を機に、達増拓也知事および京都府知事、京都市長、釜石市長および京都、釜石の学校長他の関係者、そして岩手県から商工労働観光部や大阪事務所、風鈴供給元の（株）岩鑄、岩手日報社、京都新聞社も参列した大々的な法要、式典ならびに祝賀会を企画、挙行了した。

まず10時より、南部風鈴奉納法要が清水寺本堂内陣および礼堂（外陣）にて清水寺法務部長・森孝忍師により行われ、及川会長の挨拶と達増知事の祝辞、そして10周年記念ソング「風を伝えておくれ」の奉納があった。

10時45分よりご来賓の方がたによる風鈴のかけ初め式が回廊にて行われた。ここでは、児童作文の朗読、開晴小中学校のブラスバンド演奏、京都府、京都市の

来賓祝辞および挨拶があった。

洗心洞での祝賀会に先立ち、及川会長より釜石市立白山小学校へ、森清範貫主が揮毫した「奮励努力」の額が寄贈された（唐丹小学校には既に2017年、剛正力行が贈られている）。祝賀会は、及川会長の挨拶、釜石市長の祝辞他、主だった出席者の祝辞があり和やかなうちに終了した。

出席者には「清水の舞台」を象った文鎮（柘岩鑄製）および会誌『10年の歩み』が配られ、10周年にかける主催者の並々ならぬ意気込みを感じた。

なお、風鈴飾り付け、取り外しおよび炎天下でのチラシ配り等、ボランティアの皆さんに心からお礼申し上げます。（事務局F記）

第101回全国高校 野球選手権大会

花巻東高校 2年連続で1回戦敗退

令和元年8月9日(金) 第1試合

夏の甲子園は2年連続10回出場の花巻東高校、8月5日（月）チサンホテル神戸の宿舎で関西岩手県人会、岩手

県大阪事務所、岩手日報社による激励会が開かれた。金野 衛会長、土井尻英明所長、境谷智明支社長の激励

挨拶に続き、高木章浩次長の初めてのエールに送られた花巻東高ナインは、8月9日の鳴門高校（徳島）と対戦した。

1回表、中森投手はヒットと2連続フォアボールで2死満塁とされた後、2塁打を喫し初回にして早くも3点を献上した。3回からエース西館投手に交代したがピリッとせず、140キロ以上のスピードはあるもののコントロールが今一つで、5回終了時に0対7と点差が開いた。5回の2死1、2塁から2塁打で2点、その後疲れた相手投手を追い詰め2点を得るも、再三のチャンスに有効打が出ず4対10で敗れた。

ヒットは同数の10本、エラーは相手校より1個少ない2個であったにも関わらず、このように点差が開いたのはフォアボールを与えすぎたことによる。中森、西館、小野寺、野中の4投手の継投で絶対的エースが不在、ランナーを出しても要所で三振を取れた菊池雄星選手が懐かしい。



大阪事務所高木次長の目録手渡し(この後エール)

今年は連日殺人的猛暑で、炎天下、応援くださった県人会の皆さんにお礼申し上げます。（事務局F記）

第33回 北東会レポート

快晴の下

瀬田ゴルフコース（北コース）で

令和元年10月9日（水） 幹事 藤井 勝

北海道と東北5県（青森欠席）による第33回北東会ゴルフコンペが、快晴という好条件の中、瀬田ゴルフコース（北コース）にて開催されました。今年の幹事は北海道。

総勢60名、わが岩手は5名の参加（北海道24、秋田9、宮城5、福島6、山形11）。

成績：団体戦は例年通りチームの上位5名のネットスコア（ダブルペリア方式）の合計で競われた。順位は優勝北海道（上位5名の合計一以下同）ネット369.8（グロス467）、準優勝秋田ネット371.6（グロス470）、3位山形ネット373.8（グロス471）、4位福島ネット375.0（グロス489）、5位宮城ネット388.0（グロス514）6位岩手ネット389.8（グロス493）。

優勝した北海道は、グロス・ネット共に首位、参加人数の多さが上位選出5名の数字への寄与大。わが県はグロスでは5位の宮城には勝ったが、ダブルペリア方式の隠しホールの運に恵まれず、最下位の6位となった。次回の健闘を期す。

個人戦ではネットスコア上位30位以内では22位松本（以下敬称略）、28位藤井と、2名が入った。

5名の参加者各位のご健闘に感謝申し上げますと共に来年も多数のご参加を期待しております。尚、来年の幹事は秋田県、再来年は岩手県です。

岩手チームのメンバー（あいうえお順・敬称略）：境谷智明、刀根誠、新田陸夫、藤井勝、松本泰州

泉大津 サンマ祭り

大船渡直送のサンマ1200尾

～売上の一部は義援金に～

令和元年11月3日（日）

東日本大震災の翌年より始まったサンマ祭りは、今年で8回目を迎え場所を南海本線泉大津駅の高架下に移して開催された。サンマは復興応援金を含めて¥200で振る舞われ、長蛇の列をなした。焼き手は大船渡からも来ており、午前600、午後600の計1200尾が予定されていた。

今年は未だかつてないほどの不漁で、当初は魚体も細く脂のノリも悪かったが、当日の大船渡直送のサンマは大きく脂も乗っており大変美味しいと伝えていた。

大船渡商工会議所会頭で「さいとう製菓(株)会長」の斎藤俊明氏は、式典で「現地は目覚ましい復興を遂げており、これは泉大津市をはじめ多くの皆さんの支援の賜物」と挨拶した。

周辺は1日中様々な催しが行われ、その一部とはいえ

震災復興をテーマに挙げてくれているのには感謝したい。式典には金野 衛会長と岩手県大阪事務所長の土井 尻英明氏が来賓として出席した。（事務局 F記）



前列右から式典に出席の金野会長 と土井尻所長

＜平重盛卿が創建した法楽寺＞

平家物語や源平盛衰記に書いてある平重盛卿（平清盛の長男）が宋（中国）の育王山阿育王寺と中国の帝（みかど）に奥州から献納された黄金3500両を妙典と言う船頭に頼んで阿育王寺と帝に黄金を届けさせたことが記述されている。この黄金も玉山産と記載されているので、法楽寺の小松庸祐住職にお知らせした。小松住職は気仙の玉山金山の地を訪ねてみたいと関心を寄せていた。既に10年も前の話である。阿育王寺から黄金の寄進の返礼に「仏舍利」を贈られ、これを祀るために、小松内大臣平重盛卿が「法楽寺」を建立された。正式名称は「紫金山小松院法楽寺」と言う（現・真言宗泉涌寺派大本山、大阪市東住吉区）。

＜小松庸祐住職、奥州の旅＞

私が法楽寺の由来を知って10年になる。この間に東日本大震災が発生し、小松住職が大病を患い玉山金山跡の視察が延び延びになっていた。今年の3月11日、住職から震災の法要を済ませて、玉山金山跡を訪ねたというお手紙を頂戴した。新幹線を乗り継ぎ一関で下車、レンタカーで平泉を参拝。奇跡の一本松で卒塔婆とお経を手向け、一本松の茶屋（八木澤商店）で一服し、観光協会を訪ねて玉山金山跡を訪問した、という。手紙には、訪れた経路、お会いした人、会話の内容、偶然に知人に会えた人、金箔入りのアイスクリームを玉の湯で食べたこと。一部始終が手に取る様に綴られていた。

そこで法楽寺の小松上院を訪ね、かねての意向を実現すべく再度玉山訪問を依頼し、受け入れ態勢を従弟の松坂泰盛先生に依頼。金山の大岩がスムーズに法楽寺の境内に運び込まれる様に石屋さん、植木屋さん、報道機関、地元関係者の協力を仰いだ。小松上院の重盛公と玉山金山との結縁を強く望まれた結果の表れであった。

＜互いに奉納 玉山金山の大岩と法楽寺の天目松＞

玉山金山の「大岩二個と気仙椿」を法楽寺の境内に奉納。法楽寺庭園に重盛公お手植えの松・近くに植えてある二本の「天目松と赤石」がある。その一本の天目松と赤石を玉山金山の守り神「竹駒神社」に贈ることになり、令和元年5月19日、それぞれ受け入れ



法楽寺境内に据えられた玉山金山の大岩

の儀式が行われた。（次号玉山金山の歴史）



「竹駒神社」に奉納された法楽寺の天目松



訃報

村上忠夫元副会長逝く

令和元年11月16日没 享年87歳

村上忠夫氏は本会元副会長で創立45周年記念行事実行委員長を勤め、県人会運営に大きな功績を残されました。

また、関西宮沢賢治の会の元副在りし日の村上さん 会長で、賢治が教鞭をとった花巻

農業高校OBであることから、賢治の会に強い思い入れがあり、会がお世話になっている導師や詩の朗読者に「リンゴ」を贈り、また「講演録発刊」に備えて多額の寄付をするなど、人知れず賢治の会を支えてくれた方でした。心からご冥福をお祈りします。

合掌（賢治の会々長 深田 稔）

会員近況

納涼祭返信ハガキ抜粋（挨拶文省略）

赤坂巧、貞子；仕事のため欠席させていただきます。
大森清子；体調が悪く欠席します。
小野寺正芳；昨年10月転倒骨折、1か月入院、現在週1
回りハビリ中であり、外出は思うようになりません。

小野寺公康；納涼ビアパーティの当日は、俳句会（京都
黄檗山吟行）と重なってしまい出席できません。
尾張秀男；元気です。高槻に遊びに来てね。
鎌田龍児；参加を見合わせます。家内の病状がリユ
ーマチに加えて認知症を発症して目が離せないためです。
デイケアセンターのお世話になるのも限界があり、し

ばらくは小生が支えていこうと思います。

菊池満昭； 日頃は、大役大変ご苦勞様です。早速ですが残念ながら当日は所用につき欠席させていただきます。事前並びに当日の準備お手伝い出来ず申し訳ございません。

久慈久美子；ご連絡、ありがとうございます。残念ですが、体調不良の為、参加できませんが成功をお祈り致します。

佐々木伸行；6月19日、花巻の大沢温泉で行われた豊沢中学の同窓会に出席してきました。東北ならではの新鮮に感激です。まさに泣けと如くに・・・の思いでした。5年ぶりの故郷で訃報を聞くことの多い旅でした。

佐々木幸男；文楽公演中ですので出席できません。

佐々木哲夫；病気のため欠席します。

白川光昭；当日は私用がありますので不参加でお願いいたします。よろしく申し上げます。

高橋昭二；今回は同級会で釜石まで行ってきましたので参加はすみません。

中村 滋；7月18日より21日まで、盛岡に法事帰省しており欠席させていただきます。

馬場慶次郎；7月21日は投票日で選挙運動は何もできませんので、ビアパーティに出席します。

松浦勝美；体調不良につき・・・、宜しく申し上げます。

八幡勝栄；別件と重なってしまい、どうしても今回は参加できません。

三田地泰徳；住所の番地が変更になります(6月22日より)

平田和枝；今年度の参加は難しいです。申し訳ありません(東京単身赴任)。

吉田正夫；写真クラブ等の都合により欠席させていただきます。イーハトーブは読ませていただいております。今後もお祈りいたします。

和田 浩；リウマチ性多発筋痛症が寛解(20ヶ月ステロイド剤服用により本年2月)しましたが、続いて十二指腸潰瘍発生、6月手術し静養中です。こうなりますと次なる疾病は何か？考えざるを得ません。

(大森清子様、小野寺正芳様、久慈久美子様、佐々木哲夫様、松浦勝美様、和田 浩様、一日も早いご回復をお祈りしま。事務局)

事務局掲示板

<台風19号義援金速報>

台風19号災害義援金は、11/1～11/30の一ヶ月で¥390,000(65名)が寄せられました。多くの皆さんが「故郷への強い想い」をお持ちでありがたいことです。

<寄贈・寄付のお知らせ>

本年3月、金野 衛会長より、会長就任祝いを兼ねて

ブラザー工業(株)製のFax・プリンターをご寄贈いただきました。また、菊池敏博副会長より運営資金として¥5,000のご寄付、東口由紀子さんご



夫妻から3県合同納涼祭の席上、ウイスキーを頂戴しました。金野会長寄贈プリンター。ありがたく感謝申し上げます。なお、ウイスキーは来年4月5日(日)の京都円山公園でのお花見に持参します。

<関西岩手県人会ホームページ更新>

10月1日にホームページを更新しました。毎日、岩手に関するニュース(ヘッドラインニュース)が見れる他、「食材応援団」に代わる「岩手自慢」では「じゃじゃ麺と冷麺の店」(地下鉄中央線・緑橋)が紹介されています。インターネットで「関西岩手県人会」と入力。

<会員紹介6月以降>ご入会ありがとうございます。

2019, 06, 10 斎藤淑子氏 ご主人斎藤 暁氏(ご逝去)に代わり入会。

同, 06, 26 岩切志朗氏 (守口市 現大阪市)

同, 07, 08 千田史皓氏 (一関市 現大阪市)

同, 07, 24 佐藤 康氏 (一関市 現丹波市)

同, 09, 11 雨宮 亨氏 (宝塚市 現大阪市 盛岡で大学4年間を暮らす)

同, 09, 16 小山田寛氏 (盛岡市 現尼崎市)

同, 10, 30 大輪祥史氏 (泉大津市 大阪府から山田町 出向経験あり)

<行事予定>皆さんのご参加を期待しています。

2020年1月26日(日)新春懇親会(総会11:15～、懇親会12:00～、スーパードライ梅田、会費¥6,000)

同 3月08日(日)東日本大震災募金活動(予定) 難波、法善寺境内

同 3月15日(日)やもめの会総会 箕面山荘

同 4月05日(日)親睦お花見 京都円山公園

編集後記

平成から令和となった今年を振り返ると、皇位継承がつつがなく終了し大変めでたかった反面、殺人的猛暑と気象庁が史上最強と警告を發した19号を含む一連の台風により、多くの人命と住宅、インフラ設備および農作物が失われた記憶が同居する。来るべき令和2年が自然災害のない平穏な年であることを切に望む。

平清盛の長男で「忠ならんと欲すれば孝ならず・・・」の有名な言葉を残し、おごれる平家にあつて常識的な人物であったという、あの平重盛卿が創建した法樂寺が大阪にあり、しかも、陸前高田市の玉山金山と大変深いつながりがあることを、松坂定徳顧問の手記で初めて知った。法樂寺がもっと多くの人に知られてほしい、と思う。(深田記)